

「所報」「現代宗教研究」誌総目次

所報 第一号(昭和42年3月1日発行)

〈シンポジウム〉

本尊論の再検討 茂田井教亨 執行海秀 室住一妙

浅井円道 勝呂信静 渡辺宝陽

近江幸正

〈シンポジウムの後に〉

茂田井教亨 執行海秀 室住一妙

創価学会・公明党のイデオロギ― 中濃教篤

教団調査の問題―宗勢調査集計を終えて― 望月一靖

真宗大谷派・「同朋の会」運動調査レポート

望月一靖・木村勝行・丸山照雄

日蓮宗寺院活動における地域社会と大衆の問題

望月一靖

〈書評〉戸頃重基著・「鎌倉仏教と日蓮」 近江幸正

宗義大綱「解説」作成経過

「宗義大綱」解説の仕事を終えて

頌詩

現代における伝道の問題

―故望月歆厚先生追悼にかえて―

「望月宗学」の後に来るもの

日蓮宗白書作成のための計画原案

教団調査の問題について

〔書評〕

大谷大学編「宗教化学研究会紀要」について

小松邦彰

日本宗教史研究Ⅰ「組織と伝道」

近江幸正

日本仏教史Ⅲ「近世・近代」篇

冠 賢一

昭和仏教全集「宗教と平和」を読んで

遠藤教温

仏立講の発生とその史的背景

中濃教篤

所報 第二号(昭和43年3月10日発行)

「大東亜戦争」下における日蓮宗の動向

石川康明

〈調査部報告〉

(I) 真宗大谷派「同朋の会」運動調査レポート(2)

(II) 伝統仏教諸教団における自己改革運動について

(III) 教団における教育の問題

(IV) 修験道予備調査について

所報・別冊 第一号(昭和44年2月1日発行)

現代の伝道・第一回日蓮宗教化研究会議記録

挨拶

片山日幹

挨拶

伊藤日瑞

〈記念講演〉伝道の精神

茂田井教亨

宗門における教化活動の現状と今後のあり方

長谷川正徳

宗門における新聞・雑誌の役割と運用

米沢教隆

行法教化

近江幸正

面接技術

望月一靖

文書伝道

上田栄寿

視聴覚伝道

片山宣英

音楽伝道

村上俊正

新興宗教の組織から学ぶものと批判するもの

中濃教篤

都市における伝道の諸問題

酒井謙祐

農村における伝道の諸問題

丸山照雄

〔各地布教の現状〕

1 北海道の現状

松井義海

2 秋田県の現状

木名瀬寛明

3 新潟県の現状

相沢是淳

4 神奈川県の実状

守屋日裕

5 岐阜県の現状

加藤超進

6 岡山県の現状

井藤太然

青少年教化について(シンポジウム)

一般寺院の信徒青年会のもち方

藤井教雄

青年心理と教化の実際について

今成元昭

社会教育と宗門教化

小山海信

学校教育と宗教教育

木村勝行

宗門組織と青年会運動

菅野啓淳

その一・その二・その三・その四・その五・その六・その七・討論

閉会のことば

茂田井教亨

伝道の歴史（ヘシンポジューム）

ねてー

茂田井教亨（他）

日蓮宗と伝道

影山堯雄・宮崎英修・他

〈読書ノート〉望月歆厚著「日蓮宗学説史」（他）

教化研究会議出席者名簿

日蓮宗関係主要著作・論文目録（最近）

編集後記

執行海秀教授を悼む

現代宗教研究所

所報 第三号（昭和44年3月10日発行）

本門戒壇義

室住一妙

I 護法運動伊豆国支部の活動

望月哲也

「宗義大綱」に対する疑義に答う

茂田井教亨

II 新興宗教に関する調査研究の問題点

丸山照雄

宗学論

渡辺宝陽

III 教団における教育の問題

木村勝行

近代化の宗教的基盤

望月哲也

IV 修験道調査研究

望月一靖

教団の現代的課題への姿勢

長谷川正徳

現宗研設立後の経過について

〈近代教団史研究〉

I 「妹尾義郎」ノート

中濃教篤

所報・別冊 第二号（昭和45年2月1日発行）

II 近世後期における「日蓮聖人伝」の出版

冠 賢一

教化活動の現状と未来への展望

III 「勅額拝戴」について

石川康明

'69 第二回日蓮宗教化研究会議記録

「同朋の会」運動について

日蓮大聖人生誕七百五十年記念号

1 近代真宗の歩みと宗学―曾我量深老学匠と茂田井教

挨拶

片山日幹

亨教授の対談記録―

挨拶

小川英一

2 「同朋の会」運動の精神と展望―訓霸信雄総長を訪

〈記念講演〉日蓮教団の未来像

宮崎英修

〔全体会議・統一テーマ〕 地域における教化活動の問題とその展望

伊豆国護法運動の経験

室伏祐厚

東北農村の社会的現状と教化活動

平元義雄

地域公害と教化活動

伊藤如顯

〔第一分科会・統一テーマ〕 教化活動における理念と技術的側面との結合

個人教化の必要性とその工夫

北川即正

個人教化の必要性とその工夫

牛居一教

集団教化と媒体（メディア）の重要性

新聞智照

単位寺院における青少年教化の実際

千野信和

〔第二分科会・統一テーマ〕 教団における組織的教化活動について

日蓮宗新聞をいかに支え運用していくべきか

米沢教隆

教化活動と社会問題の関連

中濃教篤

兼職者の宗門人としてのあり方

中野文海

〔合同分科会・統一テーマ〕 教化活動における理念と技術的側面との結合

真宗大谷派「同朋の会」運動信徒研修の参加報告

市川智康

教師の倫理と宗義の実践

茂田井教亨

教団としての教化カリキュラム作成について

三田村龍全

総括報告

渡辺清明・石川康明

閉会の挨拶 渡部公允・田中日堂・小川英一・塩田義朗

その一・その二・その三・その四・その五・その六・全体討論・討論

〔討議資料・シンポジウム〕

信教の自由について

憲法・安保・靖国問題を中心として

鈴木安蔵・中濃教篤・近江幸正・木村勝行

資料「文書伝道資料展目録」

教化研究会議出席者名簿

編集後記

現代と教化

所報 第四号（昭和45年3月10日発行）

現代と教化

長谷川正徳

情報化社会と宗教

新聞智照

石川康明

農村教化の展開について

平元義雄

靖国神社国営化と安保体制

近江幸正

純粋宗学と現代

室住一妙

本尊観私見

勝呂信静

曼荼羅私見

浅井円道

「釈迦仏・法華経」覚え書き

渡辺宝陽

法要儀式に関する諸問題

木村勝行

マックス・ウェーバーの宗教倫理論

望月哲也

信教の自由の理念と歴史

石川康明

天皇制と新興宗教（対談）

奥村健太郎・丸山照雄

眞宗教団史に見るその崩壊への系譜

吉岡 亨

〈討論〉

特集1 もりあがる教化研究活動

立正大学における理念と経営の危機をめぐって

―草の根の日蓮宗教師による布教実践―

丸山照雄（他）

信仰の興隆と教団の使命

宗門から見た立正大学の問題

望月一靖

農村寺院伝道における教化の問題点

木名瀬寛明

〈近代教団史研究〉

冠 賢一

東北農村における信仰意識調査

望月一靖

幕末日蓮系新興教団の動向

中濃教篤

現代と信仰実践

渡辺宝陽

続・「妹尾義郎」ノート

農村寺院における教化の問題点

農村寺院における教化の問題点

梅原正紀

近代日蓮主義の思想と行動

佐久間智周・三谷会祥（他）

〈創価学会・公明党問題〉

創価学会をめぐる社会的諸動向と「言論の自由」の問題

題点

梅原正紀

シンポジウム・創価学会の教義と思想的特質

佐木秋夫・村上重良・中濃教篤・茂田井教亨

日蓮宗関係出版・論文目録（Ⅱ）

編集後記

現代宗教研究 第五号（昭和47年9月5日発行）

特集1 もりあがる教化研究活動

―草の根の日蓮宗教師による布教実践―

信仰の興隆と教団の使命

農村寺院伝道における教化の問題点

東北農村における信仰意識調査

現代と信仰実践

農村寺院における教化の問題点

都市寺院における教化の問題点

教師と教化について

日蓮聖人降誕七五〇年の意義と教団の伝道

〈記念講演〉

日蓮聖人降誕七五〇年の意義と教団伝道

長谷川正徳

日蓮宗近畿地区教化研究集会の報告

新聞智照

教団の伝道と青年問題

〈座談会〉現代の伝道における立正安国の意義と実践

特集2 布教カリキュラム試案

―くらやみに灯明をかかげる人間づくり―

仏教保育と両親教育

三田村龍全

青少年少女教化の実際「修養道場」―開設の体験から―

岡元鍊城

現代宗教研究 第六号(昭和48年3月28日発行)

特集 日蓮宗徒と公害問題

東北の宗教構造をさぐる

特集1 日蓮宗徒と公害問題

日蓮聖人の教えと公害問題

話し手 茂田井教亨 聞き手 石川康明・内山堯邦
公害問題の輪郭をいかにとらえるか

日蓮宗徒として公害問題にどう対処していくべきか

―第五回中央教化研究会議分散会報告― 渡辺清明

日蓮宗寺院の公害実態調査報告

現宗研調査部

特集2 東北の宗教構造をさぐる

死者と語るイタコ信仰―民間の「巫女」の姿をさぐる

― うちのくの新興宗教・松緑神道大和山 外岡信昭

■ベトナム仏教徒との対話から 内山堯邦

信仰と社会実践は結合しなければならない

研究ノート

日蓮聖人と涅槃経―日蓮聖人遺文に引用された大般涅槃経を中心とした涅槃部経典について―

久住謙是

編集後記

編集後記

現代宗教研究 第七号(昭和48年10月28日発行)

〈特集〉現代伝道論へのアプローチ

寺院を伝道の拠点とするために

新聞智照

現代における伝道の意義―伝道教団論の糸口として―

近江幸正

現代宗教研究 第九号(昭和50年3月28日発行)

現代を活かす宗学

室住一妙

▼青少年教化▲

少年院教誨について―ダイジェスト的叙述―

三田村龍全

特集 靖国問題と国家神道

1 公葬形式をめぐる神仏の抗争

―靖国神社国営化問題に関連して―

中濃教篤

▼研究ノート▲

日蓮聖人における教義弘通の方法論をさぐる

1 日蓮聖人の図書活動を論ず

2 『立正安国論へ広本』について

石川康明

岡元鍊城

2 神社国家護持を批判する

―高橋智遍師の主張のあやまりを正す―

近江幸正

3 靖国問題の最近の経過と現状

4 「靖国法案」反対声明資料

縄田早苗

現代宗教研究 第八号(昭和49年3月5日発行)

宗義大綱解説

茂田井教亨

▼研究ノート▲

日蓮門下教団と「不敬」問題―日蓮遺文および曼荼羅

《対談》現代の社会不安と日蓮宗徒の姿勢

長谷川正徳 中濃教篤

勧請の天照八幡「不敬」を中心に―

石川康明

▼研究ノート▲

竜の口刑場跡考

久住謙是

現代宗教研究 第十号(昭和51年3月30日発行)

特集 恩の構造

新居日薩の事蹟

宮川一敬

『神仏分離史料』整理目録

紹介『妹尾義郎日記』刊行

I 日本人における「恩」の精神史序説

―そのダイジェスト的叙述―

三田村龍全

II 恩の歴史的展開

中濃教篤

III 日蓮聖人の報恩観―その形成と四恩を中心にして―

星 光諭

文永八年の法難と日昭上人の動向(一)

久住謙是

IV 真実報恩者の道

石川康明

天親の『法華論』と法華経引用文例

山口寿謙

●資料へ日蓮聖人の報恩観をしめす遺文

星 光諭編

日蓮聖人の法華経引用についての一考察

田沢元泰

宗教的信念体系について

佐藤智雄

編集後記

▼研究ノート▲

I 貞松蓮永寺所蔵「法要次第及び声明墨譜」について

早水辨静

付・飯高檀林跡略図

現代宗教研究 第十二号(昭和53年3月28日発行)

II 近世日蓮宗批判史小考―『大聖日蓮深秘伝』について―

宮川了篤

〈新宗教研究〉

長松清風と本門仏立講(宗)

中濃教篤

天理教の後継者問題

岡田芳来

現代宗教研究 第十一号(昭和52年3月28日発行)

教化研究会議―十年目の歩みと教化目標

新聞智照

公開研究講座

創価学会の内部矛盾と戒壇論

中濃教篤

教化と報恩―教化論についての覚書

石川康明

〈教化学研究〉

特別寄稿

魅力ある寺を思う

三田村龍全

近代日蓮宗布教史について

影山堯雄

宗門僧侶教育(法器養成)を考える―綜合一貫カリキ

檀林と法縁―飯高檀林資料紹介を中心に

伊藤立教

ユラム教育試論―

新聞智照

飯高檀林史料 御由緒明細書

藤井教正

史料紹介「茗谷学園一覽」

▼研究ノート▲

信仰的人格と自律の精神

石川康明

第10回中央教化研究会議報告

第一分科会

小野文眺

第二分科会

田沢元泰

第三分科会

小倉光雄

▼はしがき

七百遠忌報恩身延教師結集大会

特集 第12回中央教化研究会議身延教師大会

■特集1 教研まとめ報告

行学二道と報恩の教化に結集

新聞智照

現代宗教研究 第十三号(昭和54年3月5日発行)

宗教法の変遷と今後の問題

中濃教篤

■特集2 ルポルタージュ教研大会

祖廟に教化研究の推進を誓う

丸山邦雄

■特集 諫暁と報恩

(I) 日蓮聖人の「諫暁」についての考察

近江幸正

■特集3 分科会報告(要旨)

第一分科会 寺檀問題と教化活動

新井貫厚

(II) 報恩思想の徹底―知恩・報恩を論ず

石川泰道

第二分科会 子弟教育と法器養成

灘上勝仁

(III) 報恩と現代生活―明日をひらく報恩の道

三田村龍全

第三分科会 現代の家族関係と幼児・青少年教化

遠藤文祥

▼研究ノート▲

吉田松陰と日蓮聖人―草莽崛起の志

石川康明

第四分科会 日蓮聖人の報恩精神と七百遠忌

田沢元泰

第11回中央教化研究会議報告

第五分科会 日蓮宗の現状と教化活動の組織化

佐治恵暁

▼研究書紹介▲

第六分科会 現代社会の諸問題と教化 久住謙是

現代宗教研究 第十四号(昭和55年3月5日発行)

特集 第12回中央教化研究会議

▼第12回中央教化研究会議・七百遠忌報恩身延教師結集

大会宣言

▼参加者の感想 教化体験の交流と実践を

▼資料 七百遠忌報恩と伝道教団づくりをめざして

現代の危機とそれに立ち向う伝道教団づくり

近江幸正

寺檀関係を再組織せよ

木名瀬寛明

寺院子弟の現状と後継者問題

岩堀豊種

青少年教化と日蓮宗との接点

中村潤一

無二の志を開拓せよ

石川教張

本宗の現状を凝視して

中野文海

国法上における宗制と宗制における本宗機構

長谷川正浩

本化門下の独自性をもとう

石田良正

編集後記

現代宗教研究 第十五号(昭和56年3月5日発行)

特集 第13回中央教化研究会議

■新宗教研究

創価学会の内部分裂と日蓮正宗

中濃教篤

イラン革命とイスラム教

加賀谷 寛

■第13回中央教化研究会議

基調報告

中野文海

開催要綱

分科会報告

第一分科会

教学部会(近代人の観た立正安国論を習学するために)

木名瀬寛明・石川教張

第二分科会

寺檀部会

小倉光雄

第三分科会

法器養成部会

都 龍張

第四分科会

青少年部会

井本学雄

第五分科会

文書伝道部会(Ⅰ)(Ⅱ)

鈴木貫仁・中村潤一

第六分科会

社会問題部会

石田良正

第七分科会

教化組織部会

岩堀豊種

■教化活動の実践目標

《研究ノート》

■日蓮聖人御遺文上における我国の人口(49億)に就て

吉本前教

■立正安国論の浄行について

石川教張

現代宗教研究所活動日誌

現代宗教研究所規定

現代宗教研究所規定一部改定の要点

現代宗教研究誌総目次

編集後記

■事業報告

昭和56年度 現代宗教研究所事業報告

昭和57年度 現代宗教研究所事業計画案

■編集後記

現代宗教研究 第十七号(昭和58年3月8日発行)

特集 日蓮宗の教化学研究

■特集 日蓮宗の教化学研究

現代教化の現状と課題

長谷川正徳

宗勢の現状と展望―都市化地域における寺院活動

久住謙是

教化における言説布教と修法布教の意義

宮川了篤

教化学研究の意義について

石川教張

■第一回教化学研究会発表要旨

寺院運営論―明日の寺院―

木村勝行

未信徒教化の事例とその今日的意義

井本学雄

立正平和の精神と行動―第2回国連軍縮特別総会に参

加して

新聞智照

文書視聴覚教化の事例と効果

中村潤一

現代宗教研究 第十六号(昭和57年3月8日発行)

特集 立正安国論と現代

■特集 立正安国論と現代

日蓮聖人と立正安国論

小松邦彰

「立正安国論」考察の一視点・飢饉

岡元鍊城

「立正安国論」要旨を現代に読む

新聞智照

■研究ノート

立正安国論に学ぶ

石川教張・久住謙是・古河良皓

大島啓禎・高橋謙祐・望月省一

渡辺信勝・片野博義

〈寄稿〉宗教法人法

宗教団体法(昭和14年)と日本のアジア大陸侵略との

関連

ペーター・フィッシャー

■第14回中央教化研究会議

■第15回中央教化研究会議

特別報告

部会報告

《寄稿》

『立正安国論』の領解と社会・人心の浄化運動の推進

三原正資

▼書評・紹介

▼昭和57年度購入寄贈図書目録

■事業報告

▼昭和57年度現代宗教研究所事業報告

▼昭和57年度現代宗教研究所活動日誌

▼昭和58年度現代宗教研究所事業計画案

■編集後記

現代宗教研究 第十八号(昭和59年3月1日発行)

特集 寺院実態調査報告I

■発見真蹟

■日蓮聖人の仏法の特徴

宮崎英修

■特集 寺院実態調査報告I 久住謙是・林 是晋

高橋謙祐・望月兼雄

総論 戦後社会の変動と地方寺院の対応

過疎地域における寺院の現状―山梨県早川町―

寺院後継者問題―福井県寺院の場合―

農村における日蓮宗寺院問題と現実課題―まとめにか

えて―

■第16回中央教化研究会議

テーマ発題

分散会報告

へ一口報告カード

■第二回教化化学研究集会発表要旨

社会教化の事例と方策

信徒教化の内容とそのあり方

修法と教化

■《日蓮主義研究》

宮沢賢治の日蓮聖人観

『戒休即身成仏義』考

■事業報告

渡辺靈法

鎌田行学

宮川了篤

石川教張

高橋謙祐

昭和58年度購入寄贈図書目録

昭和58年度現代宗教研究所事業報告・活動日誌

昭和59年度現代宗教研究所事業計画案

日蓮聖人七〇〇遠忌関係資料

■編集後記

現代宗教研究 第十九号(昭和60年3月1日発行)

特集 寺院実態調査報告II

■新発見日蓮聖人御真蹟断簡

■教団論―布教組織構成に関する歴史的考察―

宮崎英修

茂田井教亨

■特集 寺院実態調査報告II

地域社会の変容と寺院問題

鳥根県横田地区・大森地区の場合

隠岐島寺院調査

北海道東部の開拓開教とその現状

日蓮宗開拓移民―法華村の成立と現状―

新天地を求めて

日宗法華村の実状

日蓮宗宗教移民の歴史的社会的背景

まとめにかえて

■《研究ノート》

田中智学著『宗門之維新』を読んで

教化の日々

■第三回教化化学研究集会発表要旨

カウンセリング(電話相談)

私の仏教保育

青少年問題を考える

私の修法による教化

■第17回中央教化研究会議

問題提起

分散会報告

全体会議

■事業報告

昭和59年度購入寄贈図書目録

昭和59年度現代宗教研究所事業報告

昭和60年度現代宗教研究所事業計画案

望月兼雄

久住謙是

久住謙是

古河良皓

渡邊信勝

清瀬常童

田中恵康

丸井良光

植田観泰

■編集後記

現代宗教研究 第二十号(昭和61年3月1日発行)

特集 宗門運動40年の総括

■特集 宗門運動40年の総括

日蓮宗革新同盟の活動

中濃教篤

日蓮宗世界立正平和運動

中濃教篤

宗徒総決起大会から護法運動へ

近江幸正

護法統一信行

岩堀豊種

聖誕七五〇年慶讃及び第七〇〇遠忌奉行について

中野文海

教化研究会議18年の歩み

新聞智照

お題目総弘通運動の今日的意義

長谷川正徳

■寺院実態調査報告III

千葉県東部および西部地方の寺院

久住謙是

■檀林調査報告

養安寺檀林について

植田観樹・山口裕光

■第18回中央教化研究会議

分散会報告

私の信行活動

■本宗のお題目と新興宗教のお題目の違い

長谷川正徳

信教の自由と宗教法人法

中濃教篤

■第5・6回教化化学研究集会発表要旨

修法布教私見

神谷行精

兵庫県西部社会教化事業協会が取り組んでいる現状

大岩祥峰

如何にしてお題目総弘通に取り組んでいるか

菊池泰瑞

私のお題目弘通の体験

石井鍊昭

高齢化社会と日蓮宗教化

大島啓禎

■《研究ノート》

現代社会の諸問題と日蓮宗教化

■事業報告・計画案

昭和60年度現代宗教研究所事業報告

昭和61年度現代宗教研究所事業計画案

■編集後記

現代宗教研究 第二十一号(昭和62年3月1日発行)

■巻頭言

■教化学研究

法華成立批評論

僧風教育論

檀信徒から見た日蓮宗教化

法座のすすめ方

脳死問題と日蓮宗教化

■寺院実態調査報告IV

北海道利尻島寺院調査

北海道礼文島寺院調査

■宗教意識調査

社会の人は、今、寺に何を求めているか

山梨県教師研修講座に関する意識調査

檀信徒意識調査―管内専任布教師による「お題目のつ

どい

■《研究ノート》

優陀那和上の唱題観と現代

現代社会の諸問題と日蓮宗教化(要旨)

新新宗教問題／非行について／教育問題／現代人の

宗教意識／脳死問題／身障者・社会福祉／身体障
者福祉―施設を中心として―／新新宗教問題

■第19回中央教化研究会議

基調報告・教化事例発表

分散会報告

■事業報告・計画案

昭和60年・61年度購入寄贈図書目録

昭和61年度現代宗教研究所事業報告

昭和62年度現代宗教研究所事業計画案

■編集後記

現代宗教研究 第二十二号(昭和63年3月1日発行)

巻頭言

■日蓮主義研究

法華会と在家信仰

■新宗教セミナー

教化の問題点―妙智会の場合―

天理教の教義と教会の現状

■新宗教調査報告I

伊藤瑞叡

石川教張

佐藤策郎

鎌田行学

山口裕光

久住謙是

蓮見高純

三原正資

春日屋伸昌

小林永司

八島英雄

調査・研究の方針と課題

大本（おほもと）

妙道会

赤堀正明

植田観樹

片野博義

巻頭言

■教化学研究

現代における社会教化活動の二形態―声明レクイエムの公開

を通じて宗教の社会参加を試みる―

竹内祥起

優陀那和上の事観と現代

三原正資

誕生寺58世智玄院日諦上人について―人格と信行―

■現代宗教研究セミナー

内藤潮洲

アジアの聖と賤

沖浦和光

■第9回教化学研究会発表要旨

日本の社会教育はこれでよいか

青木泰秀

修法師の行証

山口徹修

世界基督教統一神霊協会

■第20回中央教化研究会議

大会日程

■研究ノート

記念講演

原発問題と日蓮宗徒としての展望

梅森寛誠

分科会報告（7分科会）

誓願文

■第10回教化学研究会発表要旨
草山集「智慧粥の詩」を拝読してその復古を提唱する

■62年度購入・寄贈図書目録

清水学勵

■62年度事業報告

自坊の縁起

中井泰淳

■63年度事業計画案

■第11回教化学研究会発表要旨
沖縄の宗教事情と青少年教化

鹿糠堯順

編集後記

現代宗教研究 第二十三号（平成元年3月1日発行）

■第21回中央教化研究会議

大会日程

基調講演・事例報告

分科会報告

全体会議―経過報告―

決議文

誓願文

■昭和63年度購入・寄贈図書目録

■昭和63年度事業報告

■平成元年度事業計画案

■宗教意識調査

山口管区檀信徒後継者実態調査

アンケート集計報告

編集後記

山口県教化センター

現代宗教研究 第二十四号(平成2年3月1日発行)

巻頭言

■現代宗教研究セミナー

聖書と仏教

湯田 豊

■教化学研究

宗教教誨の現状

僧風教育について

■教研報告

パネルディスカッション

今問われる宗教のあり方、その役割と使命

中部教化研究会議

■研究例会

天皇問題に関して

中濃教篤

■研究ノート

優陀那和上の『首題要義』についての一考察

三原正資

■第12回教化学研究会発表要旨

矯正施設に於ける教化活動

大島鳳淳

浄光院文書と遠寿院文書について

横田英学

■第22回中央教化研究会議

大会日程

記念講演「日本人の宗教意識」

横山 滋

分科会報告

全体会報告

誓願文

■平成元年度購入・寄贈図書目録

■平成元年度事業報告

■平成二年度事業計画案

■宗教意識調査

東部管内教化調査報告書

後継者問題に関して

アンケート調査報告書

編集後記

北海道東部教化センター

北陸教研会議事務局

現代宗教研究 第二十五号(平成3年3月1日発行)

巻頭言

お題目の信行は人生修行である

■現代宗教研究セミナー

天皇とは何か―大嘗祭・即位の礼を中心に―

■教団研究セミナー

僧侶の生涯教育と子弟教育

■教化学研究

宗教と広告

現代祈禱の原点

■研究ノート

弘経要義考―優陀那和上の教化学―

■第14回教化学研究会発表要旨

現代の師弟関係を考える

宗門先師に聴く

■第23回中央教化研究会議

大会日程

記念講演「情報化社会と宗教」

部会報告

全体会報告

■平成2年度購入・寄贈図書目録

■平成2年度事業報告

■平成3年度事業計画案

編集後記

石川哲也

宮川了篤

三原正資

福山賢修

南條孝仁

野崎 茂

石川教張

大野宣寿

中野東禪

現代宗教研究 第二十六号(平成4年3月1日発行)

巻頭言

法華仏教の不易流行について

石川教張

■現代宗教研究セミナー

アラブ宗教事情―その原点を探る―

湯田 豊

墓をフィルターとして見た死後の家族

井上治代

■教化学研究

氣を通して見た心と身体はどうつながっているか(一)

―氣と経絡の科学的証明と身心相関の研究の一端―

本山 博

■新宗教調査報告III

新宗教研究プロジェクト

念法真教

円応教

■教団論

教団運営における民主主義と宗教倫理―ハワイ日蓮宗

別院の組織構造に対する一考察―

松井大英

日蓮宗開教布教センターについて

開教センターメンバー

■研究ノート

日蓮宗を中心とした『肉食妻帯令』の考察

赤堀正明

妙宗円通記考―優陀那和上の教化学―

三原正資

唱題行の生理学的、心理学的研究の一考察(その一)

影山教俊

■第16回教化学研究集会発表要旨

法器養成を考える

井本学雄

■第24回中央教化研究会議

大会日程

記念講演「立正佼成会の教化活動」

齋藤安彦

部会報告

■平成3年度購入・寄贈図書目録

■平成3年度事業報告

■平成4年度事業計画案

編集後記

現代宗教研究 第二十七号(平成5年3月1日発行)

巻頭言

「心の賤」を積むための研究

石川教張

■教団研究セミナー

死ねない時代の仏教

大村英昭

■教化学研究

どう説いたら人は法華経を理解できるか 石川英輔

■第18回教化学研究集会

新宗教への関心は常に持つていなければならない

赤堀正明

立正佼成会から日蓮宗を見る―信者の視点から―

梅津礼司

わたしたちに必要なものは何か

西嶋宏明

■研究ノート

小川泰堂の教化学

石川教張

妙宗本尊弁考―御本尊の意義を考える― 三原正資

唱題行の生理学的、心理学的研究(2)―修行プロセスの生理学的研究―

影山教俊

情報と宗教I 小澤恵修

■寄稿

近代日蓮宗の「宗義大綱」論

小野文瑛

■第25回中央教化学研究会議

大会日程

記念講演「新々宗教はどのようにして若者を集めたか」

特別講演「私と法華経」

松澤正博

部会報告

塚本三郎

■平成4年度購入寄贈図書・ビデオ目録

■平成4年度事業報告

■平成5年度事業計画案

編集後記

現代宗教研究 第二十八号(平成6年3月1日発行)

巻頭言

「時を知る」研究を

石川教張

■教化学研究

都市宗教の現在―実践教化の一試行―

秋田光彦

二十二世紀の本門佛立宗を予測する―本門佛立宗の宗門のきりかえ運動その後の運動―

加藤淳真

■教団研究セミナー

現宗研教育制度研究プロジェクト報告

田島辨正

北陸教研中間報告① 「仮称日蓮宗行学林」の概要及

びカリキュラム案

間宮啓允

お題目は、なお完成途上―今日の求道の方向性を考える―
桐谷征一

■研究例会

『法華経』と差別用語―法華行者の立場から―

野本覚成

■寺院調査レポート

北海道日宗法華村について

高橋謙祐

■研究ノート

妙宗本尊辨考(二)―大曼荼羅御本尊をめぐる諸問題―

三原正資

現行の沙弥校カリキュラムの実際とその実証的評価

―修行による意識の変容プロセスを前提として―

影山教俊

■寄稿

日持上人開教の事跡―津軽十三湊をめぐる―

木立随学

■第26回中央教化研究会議

大会日程

記念講演「現代の教化を問う」

大村英昭

「既成仏教の『教義』と『寺院・僧団』の構造再編成への提言―現代人の精神的動向を子見しつつ―」

中野東禪

「折伏・座談会・友人葬―在家主義法華系新宗教における自己教化運動―」

中野 毅

パネルディスカッション

部会報告

■平成5年度購入寄贈図書・ビデオ目録

■平成5年度事業報告

■平成6年度事業計画案

編集後記

現代宗教研究 第二十九号(平成7年3月1日発行)

巻頭言

誓願の研究

石川教張

■教化学研究

人生は靈的巡礼の旅―スピリチュアリズムの死生観―

近藤千雄

スピリチュアリズムに触れて思うこと

西嶋宏明

■教団研究セミナー

既成宗教と新宗教との布教態勢の違い

井上順孝

■他教団研究プロジェクト

「近現代の日蓮宗と他教団」中間報告

■研究ノート

妙宗本尊略弁考―日蓮宗の本尊は、なぜ解りにくいのか、
どうしたらよいか―

三原正資

臨終についての一考察

望月昌光

『宗教対話』について

貫名英舜

仏教思想史の中の日蓮教学

渋谷光紀

「氣」概論―古代中国の文献を通して―

平井良昌

現代における「信」と「学」と「化」の三極構造への

検索

小澤恵修

天皇本尊論―特に清水梁山、高橋善中氏の所説より―

早坂鳳城

『摩訶止観』『観病患境』における治病の分類―天台止

観に見られる「氣の生理学」を前提として―

影山教俊

■座談会

現宗研三十年のあゆみ

■第27回中央教化研究会議

大会日程

記念講演「死と再生のプロセス」―『チベットの死者の

書』にみる人が死んでからの四十九日間―

おおえまさのり

対談

部会報告

■平成六年度購入寄贈図書・ビデオ目録

■平成六年度事業報告

■平成七年度事業計画案

■寺院調査プロジェクト「都市寺院調査」

大都市における本宗寺院の現状と新たな開教布教の可

能性をさぐる―札幌市（中間報告）―

編集後記